

草原新聞

第17号

平成25年12月
発行

阿蘇草原キッズ・プロジェクト

未来を担う阿蘇の子供たちに草原を学ぶ機会を！



地元牧野組合の協力による草原体験学習。
実際の草原で行うプログラムの実施には牧野組合との連携が不可欠。

■プロジェクトが目指すもの
「阿蘇草原キッズ・プロジェクト」は、阿蘇草原再生協議会の草原環境学習小委員会による草原環境学習推進のための取り組みです。

阿蘇地域の全ての子どもたちが、学校教育の中で地域で守り継がれてきた草原について触れ、学習する機会を持つこと、それにより、阿蘇の草原に対する理解を深め、ひいては次世代の担い手育成にもつながっていくことを目指しています。

■プロジェクトの成果

平成21年度に活動を開始して以来、地元の活動団体や牧野組合をはじめとする小委員会メンバーが教育現場の方々と連携、協力しながら、モデル校指定による年間を通じた学習プログラムや短期宿泊型の学習プログラム



学校の先生などの教育者を対象とした研修会「ティーチャーズ・ワークショップ」も開催。

ム等の実践、個別の出前講座などを行っています。

昨年度までの4年間で、阿蘇郡市内の小中学校40校（平成25年度統合前）のうち22校、1348名の児童・生徒がキッズ・プロジェクトの学習プログラムに参加しました。また、学校独自に草原の学習を取り入れる学校も増えてきており、取り組みの輪が広がってきました。

■これからに向けた取り組み

プログラムの実践とあわせて、各学校が草原学習に取り組みやすいよう汎用性のある学習プログラムの開発や副教材づくり、実施のためのサポート体制づくりなどを進めています。プロジェクト最終年度となる今年には、夏に指導者育成に向けた講習会を開催。また、昨年度までに作成した10本（テーマ）の基本



導入DVD「阿蘇の草原すてき大発見！」



プログラムの実践成果をまとめた草原環境学習事例集

親子で楽しむ草原×第17回 阿蘇くじゅう国立公園

プログラム（案）を試行したうえで「草原環境学習基本プログラム」としてまとめるとともに、草原図鑑の作成を進めています。

昭和9年（一九三四年）、阿蘇は国立公園に指定され、昭和61年に現在の阿蘇くじゅう国立公園となりました。阿蘇地域は公園全体の75%の面積を占め、巨大なカルデラと周縁に広がる草原が雄大な自然の景観を誇っています。南阿蘇ビジターセンター、阿蘇火山博物館等の情報発信拠点があり、阿蘇の火山地形や動植物などの紹介をしています。

阿蘇くじゅう国立公園は、平成26年に指定80周年を迎えます。関連の催しも計画されています。



大観峰から北外輪を望む景色。

小学生・中学生向けに発行している子ども向け草原新聞では、阿蘇の草原には、いろいろな動植物が生息・生育していること、それぞれが草原から必要なものを得て、ともにくらしていることを伝えています。子どもたちと、春の草

子どもたちの作品を募集しています！

子どもそうげんしんぶん だい17号 ぬり絵コンテスト (小学1年生から3年生が対象です)

応募方法

- 『子どもそうげんしんぶん』の表面のぬり絵を完成させ、封筒に入れ切手を貼付の上、投函してください。
 - 作品は展示後返却いたしませんので新聞の裏面に住所・氏名をご記入ください。
 - 応募作品の中から入賞作品を選び、表彰時に賞状と副賞をお渡しします。表彰式の開催については、入賞者に後日お知らせします。
- あて先：環境省 阿蘇自然環境事務所(担当：藤田)
〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川1180
締め切り：平成26年1月10日(金)



あそか 阿蘇の草原を描こう！ 第7回 コンテスト

(小学生・中学生が対象です)

～今年も作品募集します！～

- 阿蘇の草原をテーマにした絵画作品を募集します。子ども達の力作をお待ちしております。
- 詳しくは、「阿蘇の草原を描こう！コンテスト」応募用紙、草原再生キッズホームページをご覧ください。



<http://www.aso-sougen.com/kids/>

締め切り：平成26年1月10日(金)

ご応募いただいた作品は、国立公園阿蘇情報センター、なみの高原やすらぎ交流館、あそ望の郷くぎの、道の駅小国ゆうステーション等で展示いたします。